SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

カ				54445			主な	SDGs	(17:	<u> </u>	ルと169	ター	デット)関連項目		
カテゴ	非該	^亥 チェック項目	取組	具体的な取組		2 3	4	5	6	7	8 9	10	11	12 13 14	15 16	17
	当) エック模目 	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 0% 8/49/8	2 112 3 117111	4 112 41	5 mm. ©	6 SEED 7	Distriction (C. Proposition of Co. Proposition of C	M	10 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	11 00000° 12 0		15 totor 16 totat	¥
IJ					104464	-44	401	₽	¥	38:	711 000	157	ABB			. ab
		【差別の禁止】		・雇用、昇進、教育などあらゆる条件に対し、差別のない体制を構 築している。				5.1			8.5	10.2			16.1	
1		・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整	基本	・公正採用選考人権啓発推進員を選任しており、定期的な講習会 を受講している(年1回)。				5.2 5.5			8.7 8.8	10.2			16.2 16.7	
		備し、差別がないことを確認している		正文時している(牛・回/。				5.5			0.0				10.7	1
		【ハラスメント禁止】		 ・就業規則に禁止であることを明示している。				5.1			8.5					
2		・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体	基本	・問題が起きた場合に対して、相談室体制を整えている。				5.2 5.5			8.8				16.1	
		制を整備している						3.3								1
	_	【労働時間】	ш.	・社内各部署で時間外労働の管理や制御を行い、長時間労 働防止を行っている。							8.5					
3		・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労務担当者から残業時間と有給休暇取得状況を発信して							8.8					
				いる(月1回)。			-						_			1
4		 【外国人労働者】	#+	・アメリカ人1名、中国人1名を正社員として雇用している。ま			١.,				8.7	10.2				
4		・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	た、外国人アルバイトも採用中			4.4				8.8	10.3				
				 ・安全衛生委員会を開催して、各職場の問題点などを確認												+
5 人		【労働安全衛生】	基本	是正している(月1回)。		3					8					
権		・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	坐不	・安全衛生アンケートを実施し社員から細かい改善案を募っしている(年1回)。		"										
-				(いの(中1回)。												+ 1
労		【メンタルヘルス】	基本	・年1回、最繁忙期である12月にストレスチェックを行ってい		3										
∮ 働		・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	本 本	ి కే		"										
							-		-				-			+
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の	基本	・定年後の再雇用制度を設けている(実績あり)。				5.1			8.5	10.2				
'		・多様な人材(女性、外国人、障がい省、高齢有等)が、十万に治難できる環境の 整備に取り組んでいる	本个	・国際的に販売している点から、外国人を採用している				5.5			8.5	10.3				
				 ・労働安全系の資格取得の推進(フォークリフトや酸欠な					-	-						
8		【人材育成】	基本	ど)。			4	5.5			8 9					
		・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	坐不	・販売管理系の資格取得の推進(販売士・監督士・利き酒士			'	0.0								
				1470												
9		【公正な待遇】	基本	・人事考課制度を確立し、公正な評価のもと、賃金に反映さしている。				5.5			8.5	10.2 10.3				
		・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している		12 CV 8.								10.3				
		【伊克经党】														
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・月1度程度の医師による健康相談実施 ・社内分煙の実施		3					8					
		・ 佐木貝への健康役員による土産住の同工寺に取り植んといる		は下がたの名が												
		 【廃棄物】		 ・廃棄物分別処理の対応												
11		1.65条物/ ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・専門業者による回収									11.6 1	2.4 14.		
		SERVINO ELECTION CENTRAL COMPANION C														
		 【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】	++-	 ·電気使用量の管理												
12		- 自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・ガス使用量の管理						7.3				13		
																1
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】	基本	・社用車の低燃費車両の導入						7.2				2.4 13.3		
13		・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	本个	・全ての蒸気ボイラーを重油式からガス式に交換						7.3			'	2.4 13.3		
		[左宝儿尚杨媛]								-						
14 環		1.有音化子物頁】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に	基本	・有機溶剤作業主任者の選任		3.9			6.3				11.6 1	24		
' ̄ 境			- 24	・法令に基づく特殊健康診断の実施		0.5			0.5				11.0	2.7		
15	п	【生物多様性】	基本	・排水処理施設の更新					6.6						15	
10		- 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	- 24	・自然由来の環境に配慮した資材の導入					0.0							
				・リユース可能な容器の導入	 			+	+	+		+				+
16		【3Rの推進】	基本	・海洋汚染につながるようなプラスチック等の資材を極力使									1	2.5 14.1		
		・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	_ _	用しない 【予定】バイオ素材を主としたショッピングバックの導入												
							1		+	+		+				+
17	取り組んでいる 【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性 【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、		チャレンジ	·びんの洗浄に使用する水の使用量を削減するため、高効率の洗浄機を導入					6.4							
		・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる		半り					6.6							
							-					- 1			1	

カ				目体的共和和			主な	DGs	(17:	ゴール	_				連項目		
カテゴ	非該 当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3	4	5	6	7 8	9		11 1		3 14		
IJ	=	, = , , , , ,			2 == (((3 -W-	4 mm 5	₫*	Ų.	of and	******	4€>	A C	13:)	15 tit*** <u>**</u>	¥.
8		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	以前ISO14001を取得していた。 【予定】新たな環境マネジメントの選定取得		3.9			6	7			1	2 1	3.3 14	15	
9		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	以前はカタログやHPに環境に配慮した事例などを開示していたが、情報の整理で削除。再度開示できるよう改良を行う。									1:	2.6			
0		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	電力購入自由化を受け、太陽光発電システム導入を検討中である。					-	7.2				1	3		
1		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・食品メーカーとして、極力天然素材を使用し、無駄な利用はしないよう心掛けている									1:	2.2 1	3 14	15	
2		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】汚職・贈収賄防止に対する基本内容の策定を準備													16 16.
3		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・適正価格の順守を念頭に、販売先への指導を行う ・競争に巻き込まれない商品づくり													10
公正		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	自社保有の商標を管理している。 【予定】海外での商標管理について、今後検討する						8.2 8.3	9						
な事業慣行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・顧客データの漏洩防止に社内ルールを設け管理 ・随時新たなセキュリティー対策に対応するシステムの導入													1
6	V	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ														1
7		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への 悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)につい て認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・担当社員を含め、サプライチェーンマネジメントを確認し、内 容の共有を図る。				5		8		10	1	2 1	3 14	15	1
8		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・商品開栓時の事故防止として、新型キャップの採用		3.9							1:	2.4			
製 9 品 サ		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・常に品質の良い原料を仕入れて、高品質な製品をつくるよう心掛けている ・商品に対する温度管理の徹底 ・消費者からの意見に対応する担当部署設置							9						
1 ビス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・リサイクル可能な容器の利用 ・印刷やパッケージについて、環境に配慮した製品を使用する					6				1	2 1	3 14	15	
1		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・容器・パッケージ等に点字をいれ、盲人の方への配慮に対応 ・廃棄物削減として、購買者向けに不要な資材を選択できるように対応	1 2	3	4	5	6	7 8	9	10	11 1	2 1	3 14	15	1

					主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目									
	非該当	チェック項目	取組しべい	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	1 2 3 4人 () () () () () () () () () (5 5 ジェンダー平等を 1 6 安全な水とト を世界中に	7 エネルギーモルルなに 7 モレアクリーンに 2 優きがい 経済成長	り を業と技術革新の 基盤をつくろう	10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	12 13 気候変動に 12 つかう責任 (13 気候変動に 実体的な対策	14 海の量かさを サタラう ************************************	5 16 中和と公正を すべての人に ご	17 パートナーシップで 目標を達成しよう	
32	L	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		・県内の地酒メーカーとして、他社を牽引していくことに責任 をもつ ・地域未来牽引企業の認定	4			9		12	14	5	17	
社/公司 133		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・J1「松本山雅」スポンサー契約 ・地元中高生向けに伝統産業を教えるプログラムを実施	4				11		14 1	5	17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している		・県内産の原材料にこだわり、率先して使用する ・街づくりイベントや、セミナーなどに参加 ・地域資源を価値として商品づくりの際重要視する 【予定】インバウンドの取り込みと県内消費増への対応			8	9	11	12 13				
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営者の目標「4つの夢」を社内外に発信している			8	9					17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・就業規則に導入済み 【予定】法令順守コンプライアンス研修の導入								16		
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備 している	基本	専門部門ではないが、対応する部署と担当者を配置								16		
38 組織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす 影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	【予定】ステークホルダーとの対話ができるよう準備する								16	17	
39		【リスクマネジメント】 - リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスク回避などのセミナー参加。・組織の整備を検討								16		
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】CSR方針の策定を準備								16		
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】危機管理対策チームを準備し、対応策を確認する				9	11	13.		16		
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者の予定者がいる 【予定】後継者の事前教育の重要性を考え、研修などを検 討			8	9					17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1 2	3 4	5 6 7	8 9 10	11 12	13 14 15	16 17

【記載留意事項

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録 が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)